

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会

時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信夫  
両団体理事長 半田 晴久  
新エネルギー委員長 中島 稔  
両団体専務理事 清原 淳平

## 新エネルギー委員会のお知らせ (第330回)

日時 平成31年2月6日(水) 午後1時半～4時

場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第1会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。また、会議開始後にお越しの方は、受付に「第1会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、最近の再生・新エネルギーについて思う

挨拶 中島稔新エネルギー委員長

2、燃料電池の小型化・低コスト化に向けた高性能電解質薄膜

解説 AGC(株)商品開発研究所 立松伸新商品第二部長

3、『新エネルギー関連ニュースNO.182』

解説 中島稔新エネルギー委員長

報告 去る平成30年12月4日開催の第328回新エネルギー委員会は、中島稔新エネルギー委員長が議長を務め行われました。

まず、中島委員長より、「最近の再生・新エネルギーについて思う」と題して開会挨拶がありました。ドイツや中国やアメリカでは、再生可能エネルギーで造ったエネルギーを、需給バランスが崩れるために制御する事例がしばしば起きる。再エネの発電所は郊外にあり、電力を使用する地域と離れているため、送電網がよほど発達していないと、作りすぎた電力は余る。再エネは天候に左右されるため、当日になってみないと電力量はわからない。電力会社の損失は政府が補填し、その負担はすべて消費者に回る。つまり電気代が跳ね上がるということ

だ。国土がこれらに比べて狭い日本でも、九州では最近再エネの出力抑制が行われ、他地域でもそのような動きが出てきている。再エネの割合が増えれば、さらに抑制は増す。地域によって再エネの設備を調整することも必要になるだろう。

次に、清原淳平専務理事より、本日の講師・三輪田祐子資源エネルギー庁調査広報室室長補佐の経歴紹介がありました。次に、三輪田補佐より、「エネルギー白書の解説」と題して解説をいただきました。2030年に向けて、CO2を出さない電源を44%にする指標を掲げている。現状、再生エネは15%と原子力は1%だが、双方で20%ずつに比率を上げ、これによりCO2排出量を11.3億tから2億t減らす。世界のエネルギー需要は拡大の一途をたどる。一方、再生エネ価格はこれからも下がり続けるだろう。どれだけ再生エネが普及するか、新興国でのCO2排出量を削減できるかがカギになる。日本のエネルギー自給率はわずか0.7%であり、他の主要国がパイプラインを用いているのに対し、日本はタンカー輸送のみであり、これはエネルギー安全保障上好ましい状況ではない。輸入に頼らず、低炭素化を実現するには、再エネの拡大が望ましい。日本企業は、低炭素(風力・太陽光)より、脱炭素(蓄電池、水力、CO2の地下貯留等)で、世界シェアを高めている。水素の活用にはイノベーションの向上が必要になる。

次に、中島稔委員長より『新エネルギー関連ニュースNo.181』の解説がありました。今回は、○高効率水素生成膜の開発。微細な穴で水素分子だけをふるい分ける。5年後めどに実用化を目指す。○廃棄アルミを利用した水素の活用。○発火しにくいリチウムイオン電池の開発。従来は液漏れすると発火する有機電解液を利用していたが、フッ素、硫黄、窒素を主成分としたイオン液体を用いてリスクを低減。○金沢工大、複数の再生可能エネルギーを用いて電力の供給を目指す実証実験。○光を使って無線で電力供給するシステムの開発。レンズで光量を調節し、均一に光が集まる。○日本工営、発電用水車の生産拡充、などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費 会員千円にご協力を。

次回、2月6日(水)の新エネルギー委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様のFAX \_\_\_\_\_

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(その際の会費は二千円となります。)

事務局宛FAX 03-3507-8587

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)

当日連絡先 080(8836)6203 (重田) 080(9292)2620 (高津)